

土と実りに触れる、
笑顔あふれる玉ねぎ収穫



表紙 / **くりのみ園**
玉ねぎ収穫ボランティア

障がい者就労支援施設のくりのみ園では有機野菜を栽培しています。「多くの方に農園へ来て土に触れる体験をしてほしい」と今年から収穫ボランティアを募集。ボランティアさんも利用者さんも一緒に楽しく収穫していました。

目次

- 2P 支え合いまちづくりレポート
- 3P 悩みごと・困りごと相談先の紹介
介護職レシピ
- 4P 「無事にカエル」で広がる交流の輪
小布施中学校 職業体験学習
- 5P デイサービスセンター外出事業「バラ鑑賞」
「日赤活動資金」「社協会費」ご協力のお礼
- 6P 町で働く「ふくし」のかたち
義援金ご協力のお祝い
町社協の情報発信





小布施町支え合いまちづくりレポート vol.48

地域で育む 子どもの『第3の居場所』

子どもの頃に知り合った
地域の人の顔を
何人思い出せますか？



自分が暮らす地域の
子どもの顔を
思い浮かべることが出来ますか？

最近では少子化や核家族化が進み、子どもたちが地域のいろいろな世代の人と触れ合う機会が少しずつ減っています。登下校のときに見守ってくれるおばあちゃん、お祭りで一緒にお神輿を担いだおじさん、近所で一緒に遊んでいたお兄さんや年下の友だち…そんなつながりが、今は少なくなっているのかもしれません。

また、子どもたちの抱える不安やストレスも複雑になっています。だからこそ、家庭や学校に加えて、地域のみんなで子どもたちに寄り添い、温かく育んでいく関係づくりが、とても大切になっています。

●子どもの居場所は、みんなの安心につながる

家庭でも学校でもない、安心して自分らしく過ごせる『第3の居場所』が身近な地域にあることは、子どもたちだけでなく、地域にとっても大きな意味を持ちます。

子どもにとって

いろいろな世代の人と触れ合うことで、心が大きく育ちます。ものの見方が広がり、自分に自信が持てるようになることで、社会で生き抜く強い力が身につきます。

地域にとって

世代を超えて顔がわかる関係になることで、地域の誰もが孤立しない『見守りの輪』が広がります。これは、災害時の助け合いにもつながります。

●小布施町には、どんな居場所があるの？

子どもが安心できる場所であれば、どこでも居場所になります。
子どもたち自身が自分に合った居場所を選べるよう、もっと身近に、多種多様に増やしていく必要があります。

◆町が実施している事業

児童クラブ／エンゼルランドセンター／子ども教室／教育支援センター（AB教室）など ▶▶事業ごとに対象要件あり。詳しくは役場までお問合せください

◆地域のみなさんが取り組んでいる活動

あそびばおしゃべりば／かえで通り子ども食堂みんなの家／おぶせっこ食堂／お茶の間まつぷくり／松村協議体のラジオ体操／まめ豆もちもち など

●これからの居場所づくり

居場所づくりで大切なことは、子どもの声が形になることです。「どんな場所に行きたいか？」「何がしたいか？」など、子ども自身の想いを聞き、寄り添う“子どもファースト”の姿勢が大切になります。

●身近なあいさつも、ゆるやかなつながりに

「支援する・される」だけではない程よい距離感は、子どもたちに安心感を与えます。あいさつは、地域にゆるやかなつながりをつくる第一歩。登下校時の「おはようございます」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」の気軽なあいさつで、子どもたちの成長を応援し、未来を担う子どもたちを温かく育む地域を目指しましょう。

始まります！

みんなで “子どもの居場所づくり”

今年度の赤い羽根共同募金配分金事業となった「子どもの居場所づくり実行委員会」が動き出します。子どもの居場所づくりに参加しませんか？

⇒詳細は町報おぶせ8月号に折込の
“実行委員会募集チラシ”をご確認ください。

赤い羽根共同募金は、小布施町の子どもの居場所づくりを応援しています。地域の「困りごと」と「支える人」をつなぐための助成金として、居場所づくりでも活用されています。



毎月の信州あいさつ運動

お困りごとはありませんか？ いろんな相談先がありますよ！

お悩みごと・お困りごと

- 物忘れで通帳や印鑑の場所がわからなくなった…
- 障がいのある子どもの財産管理どうしよう…

- 相続や遺言について知りたい
- 成年後見はどうやったら使えるの…

- ひきこもり状態から抜け出せない
- 生活に困っているけど、どうしたらいいの…

- 婚活の相談に乗ってくれる人がいない…
- NAGANO ai MATCH について知りたい



ご相談先（一例）

須高地域成年後見支援センター

- ▶ 町健康福祉課 Tel 214-9108
- ▶ 地域包括支援センター Tel 242-6680

まずは町の相談機関へご連絡ください。

長野県司法書士会 Tel 232-7492

相談窓口（ホームページ）はこちら ▶



生活就労支援センター まいさぽ信州長野 Tel 267-7088

まいさぽ出張所（町社協内） Tel 242-6665

小布施町結婚支援センター

Tel 242-6665



どこに相談したらいいかわからない「悩みごと・困りごと」は町社協にご相談ください。

お話を伺い、適切な相談機関へおつなぎします。

その他、無料法律相談、乳幼児健康相談などの各種相談については町報にも案内があります。

夏にオススメ

町の管理栄養士さん考案！

ちょっと楽になる介護食レシピ♪

6月11日に「ちょっと楽になる介護の食事の用意」をテーマに、1回目の家族介護者のつどいを開催しました。参加者のみなさんからの「もっとレシピを知りたい！」という声にお応えし、「飲み込みやすく、しっかり栄養がとれる夏バテ予防の簡単レシピ」をご紹介します。



豆腐入りふわふわ肉団子のあんかけ

肉だねに木綿豆腐を混ぜ込むことで、お肉がパサつかず、とても柔らかい食感になります。煮汁のとろみが喉ごしを良くし、飲み込みやすくなります。夏バテ予防に豚肉でビタミンB1を摂りましょう。

材料 （2人分）

- ・豚ひき肉：120g
- ・木綿豆腐：100g（しっかり水切りをする）
- ・長ネギ：1/4本（みじん切り）
- ・卵：1/2個
- ・塩・こしょう：各少々
- ・片栗粉：大さじ2

〈煮汁あんの材料〉

- ・水：200ml
- ・めんつゆ（3倍濃縮）：大さじ2
- ・水溶き片栗粉：大さじ1（片栗粉大さじ1/2、水大さじ1/2）

作り方

- 1 ボウルに豚ひき肉、水切りした豆腐、長ネギ、卵、塩・こしょう、片栗粉を入れ、粘り気が出るまでしっかりこねる。
- 2 鍋に水とめんつゆを入れて沸騰させ、沸いたところに肉だねをスプーンですくって入れ、中火で10分ほど煮て中心まで火を通す。
- 3 煮汁に水溶き片栗粉を回し入れ、加熱してトロミをつける。とろみ付けにはとろみ材を使っても良いです！

ごはんやそうめんに乗せて♪
煮汁にいろいろな野菜を入れてもOK♪



ナスのとろとろ浸し おろしあんかけ

ナスは皮をむいて電子レンジで蒸すことで、とろけるような柔らかさになります。さっぱり大根おろしだれで食べやすく。

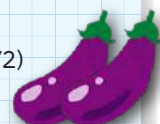
材料 （2人分）

- ・ナス：2本
- 〈あんの材料〉
- ・大根おろし：50g
- ・水：大さじ3
- ・めんつゆ（3倍濃縮）：大さじ1
- ・水溶き片栗粉：大さじ1（片栗粉大さじ1/2、水大さじ1/2）



作り方

- 1 ナスはヘタを切り落とし皮をむき、縦半分に切ってから、さらに横半分に切る。
- 2 耐熱皿に並べてふんわりラップをかけ、電子レンジ（600W）で約4～5分、ナスがトロトロになり火が通るまで加熱する。湯を沸かして茹でてでも良い。
- 3 小鍋に「あんの材料」の水とめんつゆを入れて沸かし、水溶き片栗粉でトロミをつける。
- 4 お皿に盛ったナスに、温かいあんをたっぷりかける。



6/6・24・27 カエルで広がる交流の輪！ ～「気を付けて」「無事に」「仲良く」カエル～

デイサービスセンター花の里の利用者のみなさんが、梅雨の季節に合わせ、カエルとおたまじゃくしの可愛らしい壁飾りを作成しました。「子どもたちが無事に家へ帰れるように」との願いが込められています。

細かい作業や貼り絵に「難しかったけれど楽しかった」「無事に帰ることが一番」とやりがいを感じながら一所懸命作られた作品は、利用者さんの代表と職員がわかば保育園・小布施町交番・栗ガ丘小学校へお渡ししました。



6/6 わかば保育園

駆け寄ってきた園児たちが「わ～かわいい！ありがとう！」と元気いっぱい手を振り、利用者さんも「子どもたちの笑顔が見られて本当に良かった」と笑顔がこぼれました。



6/24 小布施町交番

中島交番所長にお渡しした際には、お礼として「特殊詐欺被害防止」についてのお話もいただき、地域の安全を守る思いが深まりました。



6/27 栗ガ丘小学校

「お家にまっすぐ帰ってね」と願いを込めて手渡すと、児童会長さんから「安全に帰れるよう、6年生で努力します」という頼もしい言葉が返ってきました。

7/7～9 小布施中学校 職業体験学習 福祉の現場で芽生えた 温かい気づき

小布施中学校の生徒さんが町デイサービスセンターとデイサービスセンター花の里へ、3日間の職業体験学習に訪れました。

実習では、通所された利用者さんへのアルコール消毒やお茶出し、午後のレクリエーション補助など、福祉の現場でのさまざまな業務を体験されました。

折り紙を使った作品づくりでは、はじめは緊張していた生徒さんたちも、利用者さんから「昔よく折ったよ」「ここはこう折るのかな？」といった声があると、「そうですよ」と優しく声をかけたり、手元をそっとお手伝いするうちに、自然と会話も弾み、互いに笑顔になる姿が見られ、世代を超えた心温まる交流のひとときとなりました。

実習を終えた生徒さんからは、「働くことは大変なだけでなく、たくさんの楽しみや喜びがあることを知りました」という頼もしい感想があり、今回の体験が、働くことの意義や福祉の仕事への理解を深める一助となればうれしいです。



6月
15~29

色鮮やかな花々に包まれて

～中野市一本木公園へバラ鑑賞～

町デイサービスセンターでは、中野市的一本木公園へバラ鑑賞に出かけました。期間中は全日程で天気に恵まれ、外出を希望された利用者みなさんにご参加いただくことができました。

園内には甘い香りに包まれた満開のバラをはじめ、見頃を迎えたあじさいやユリなど色とりどりの花々が咲き誇り、みなさん笑顔で散策を楽しめました。



参加された方からは、



「久しぶりにバラ公園に来ることができて本当に良かった」



「きれいなお花を観ると、自然と元気が湧いてくるね」



「心までパッと明るくなりました」

といった声がたくさん聞かれ、心身ともにリフレッシュしていただけた素晴らしいひとときとなりました。今後もみなさんに季節を感じ、笑顔になっていただけるような外出企画をお届けしていきます。

令和8年度

「日本赤十字社活動資金」「社会福祉協議会会費」へのご協力ありがとうございました

地域のみなさまには、今年度も日本赤十字社活動資金および社会福祉協議会会費へ温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お寄せいただきました「日赤活動資金」は災害救助や救護法の普及に、「社協会費」は地域での支え合い活動や福祉事業の大切な財源として活用させていただきます。

実績報告 (R8.7.31時点)

日本赤十字社活動資金 540,802 円

社会福祉協議会会費 2,899,000 円 (世帯単位の会費)



ご協力いただいている企業・法人様 (順不同)

日本赤十字社活動資金 (企業様)

ノバフォーム(株) / (有)オブセ牛乳 / (株)イマイ企画 /
(株)栗庵風味堂 / (株)桜井甘精堂 /
(株)きりはら心斎館 / (株)システムアプリケーション

社会福祉協議会法人会員様

NPO法人小布施町シニアの会・ヒューマンヘリテージ小布施 /
(福)えがお / (福)くりのみ園 /
(福)ともす会・小布施町ワークホームみすみ草



「ふだんのくらしのしあわせ」を支える福祉の仕事
～町で働く「ふくし」のカタチ～

第6回

小布施町 介護保険認定調査員 (小布施町地域包括支援センター)
おおひら くれは こじま

大平さん・呉羽さん・小島さん



Q1. 介護認定調査員とはどのようなお仕事ですか？

A. 介護保険のサービスを利用するために必要な要介護度認定ですが、決定には調査が必要です。この認定調査をするのが介護保険認定調査員です。認定調査は、申請された方のお宅や施設等を訪問し、全国共通の 47 項目と特記事項を通じて「今の状態」と「これまでの生活」というありのままの事実を丁寧に見つめ、公平な審査へつなげています。

Q2. この仕事を選んだ理由やきっかけを教えてください

A. 実は明確な理由があったわけではなく、たまたまご縁があったというのが入り口でした。最初は介護保険認定調査員の具体的な業務を知らない部分もありましたが、それぞれの専門知識をベースに、研修を受けて正式に介護保険認定調査員として認定されました。現場で少しずつ仕事を覚えて気が付けばベテランになっています。

Q3. この仕事を通じてどのようなスキルや能力が身につきましたか？

A. 「正確に見る観察力」と「傾聴を中心としたコミュニケーション能力」です。調査時は緊張から「何でもできるよ!」と張り切る方もいますが、その言葉を受け取って「できる」と書いてしまうと本当に必要な支援が受けられなくなってしまいます。プライドを傷つけないよう配慮しつつ、話していくうちに見えてくる矛盾などを見逃さない質問の工夫やコミュニケーション力が磨かれました。

Q4. この仕事ならではの喜びややりがい、達成感を感じる時は？

A. 数年後の更新調査で再会した際、適切な介護サービスを受けられたことによって、生活の状況や体調が維持されていたり、回復されていたりする姿を見たときは、お役に立てたことに喜びを感じます。また、ご本人が望む生活が安定して続いているのを見るとやりがいを感じます。

Q5. 日頃、どのようなことを大切にしていますか？

A. 訪問前は「どんな人が来て、何を聞かれるのだろう」と緊張される方もいます。まずは、笑顔で雰囲気をはぐし、その方の人生や暮らしを丸ごと尊重してお話を伺うことです。ご本人の前では困りごとを話しにくいご家族のために別室で聞き取るなど、それぞれのプライドと関係性を守る環境づくりを心がけています。

Q6. この仕事を目指す方へひとこと

A. 最初は手探りでも、会話の中で聞き取るコツや知識は現場での経験を通して自然と身についていきます。ドキドキすることもあります、お会いした方が最後には笑顔になってくださると本当に温かい気持ちになれます。人の話をじっくり聴くのが好きな方には、とてもやりがいのあるお仕事ですよ。

「熊本地震災害義援金」 ご協力をお願い

7月28日に発生した熊本県を震源とする地震により被災された方々を支援するため、義援金の募集を行っています。

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社および共同募金会を通じて全額被災地へ送金されます。

募金箱の設置場所

▶ 町役場 ▶ 健康福祉センター

※ 銀行振込でのご寄付や詳細につきましては、右記二次元コードよりご確認ください。



Webでさらに広がる!



町社協の情報発信

広報誌のバックナンバー閲覧や、音訳ボランティアによる「声の広報」もお聞きいただけます。また、紙面に載せられなかった行事やサービスのにぎやかな様子は「公式ブログ」で発信中! ぜひ二次元コードからご覧ください。

● バックナンバー
声の広報

● 公式ブログ



※ スマートフォンのカメラ等で読み取れます